

日向市総合体育館整備事業 設計施工者選定  
公募型プロポーザル 評価基準

令和5年4月

日向市

## 目次

1. 評価基準の位置付け.....	1
2. 評価方法.....	1
3. 評価項目、配点等.....	4
4. 技術提案書・VE提案書に記載された技術提案の取扱い.....	5
5. 評価基準 別表.....	6

## 1. 評価基準の位置付け

本評価基準は、日向市総合体育館整備事業 設計施工者選定 公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）「11. 評価の実施及び結果の通知」に記載する日向市総合体育館整備事業者審査委員会（以下「委員会」という。）における評価方法のほか、評価にあたっての評価項目、配点等を定めるものです。

## 2. 評価方法

評価方法は、委員会により実績、技術提案、価格、VE提案の4項目を評価します。

### (1) 実績審査（配点8点）

実績審査は、参加者及び本業務予定技術者等の実績を評価するため、次の項目を下記に示す基準により事務局が定量評価を行い、その結果を委員会に報告します。

評価項目	評価の着目点			評価点	
	判断基準			小計	
ア 参加者の実績	類似 実績	参加者の過去の類似実績について評価する	設計業務	2.0	4.0
			施工業務	2.0	
イ 配置予定技術者の実績	類似 実績	各配置予定技術者の過去の類似実績について評価する	設計管理技術者又は 建築（総合）設計主任担当者	2.0	4.0
			現場代理人又は 監理技術者	2.0	
合 計					8.0

#### ア 参加者の実績【4点】

##### 1) 類似実績【2点×2件】

参加者の実績は、設計業務及び施工業務の類似実績について評価を行います。平成20年度以降に日本国内で完成・引き渡し完了した建築物の新築、増築又は改築の実績1件（設計業務の場合は設計実績、施工業務の場合は施工実績）について、下記の基礎配点として、各区分に応じた係数を乗じたものの合計とします。また、実績がない場合は0点とします。

##### ①実績件数と1件あたりの基礎配点

	実績件数	基礎配点
設計業務	1	2.0
施工業務	1	

## ②区分係数

	直径 24m の円が水平に内接する居室を有する建築物の実績	
	当該居室の床面積が 1,000 m <sup>2</sup> 以上	当該居室の床面積が 1,000 m <sup>2</sup> 未満
延べ面積 3,000 m <sup>2</sup> 以上	1.0	0.7
延べ面積 3,000 m <sup>2</sup> 未満	0.7	0.4

## ③評価点の算出方法

評価点の計算は、下表のとおりとなります。(小数点第2位以下を切り捨て)

配点	係数 ②		評価点 ①×②
2.0	直径 24m の円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が 1,000 m <sup>2</sup> 以上、延べ面積 3,000 m <sup>2</sup> 以上	1.0	最大評価 2.0 (1件あたり)
	直径 24m の円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が 1,000 m <sup>2</sup> 以上、延べ面積 3,000 m <sup>2</sup> 未満	0.7	
	直径 24m の円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が 1,000 m <sup>2</sup> 未満、延べ面積 3,000 m <sup>2</sup> 以上	0.7	
	直径 24m の円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が 1,000 m <sup>2</sup> 未満、延べ面積 3,000 m <sup>2</sup> 未満	0.4	

## イ 配置予定技術者の実績【4点】

### 1) 類似実績（設計管理技術者、又は設計主任技術者（建築総合））【2点】

設計管理技術者、設計主任技術者（建築総合）の実績は、どちらか1名の設計業務の類似実績について評価を行います。平成20年度以降に日本国内で完成・引き渡し完了した建築物の新築、増築又は改築の実績1件について、下記の基礎配点として、各区分に応じた係数を乗じたものとします。また、実績がない場合は0点とします。

### 2) 類似実績（現場代理人、又は監理技術者）【2点】

現場代理人、監理技術者の実績は、どちらか1名の施工業務の類似実績について評価を行います。平成20年度以降に日本国内で完成・引き渡し完了した建築物の新築、増築又は改築における現場代理人、監理技術者又は主任技術者としての実績1件について、下記の基礎配点として、各区分に応じた係数を乗じたものとします。また、実績がない場合は0点とします。

①実績件数と1件あたりの基礎配点

	実績件数	基礎配点
設計管理技術者、又は設計主任技術者（建築総合）	1	2.0
現場代理人、又は監理技術者	1	

②区分係数

	直径24mの円が水平に内接する居室を有する建築物の実績	
	当該居室の床面積が 1,000㎡以上	当該居室の床面積が 1,000㎡未満
延べ面積3,000㎡以上	1.0	0.7
延べ面積3,000㎡未満	0.7	0.4

③評価点の算出方法

評価点の計算は、下表のとおりとなります。（小数点第2位以下を切り捨て）

配点	係数 ②		評価点 ①×②
2.0	直径24mの円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が1,000㎡以上、延べ面積3,000㎡以上	1.0	最大評価 2.0 (1件あたり)
	直径24mの円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が1,000㎡以上、延べ面積3,000㎡未満	0.7	
	直径24mの円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が1,000㎡未満、延べ面積3,000㎡以上	0.7	
	直径24mの円が水平に内接する居室を有する建築物の実績で当該居室の床面積が1,000㎡未満、延べ面積3,000㎡未満	0.4	

(2) 技術提案審査（配点82点）

技術提案審査は、参加者の技術提案書の内容をプレゼンテーション・ヒアリングも踏まえ、『評価基準 別表』の基準により委員会の各委員が評価します。

(3) VE提案審査

ア VE提案審査

VE提案審査は、基本計画図の内容と同等以上の機能・性能を有していることと、実現可能であることを説明できているかを審査し、その採否を決定します。ただし性能低下やグレードダウンにつながるコスト削減提案は評価しません。審査委員会が採用としたVE提案の

【VE提案額】は、価格審査時に加算して評価します。

#### (4) 価格審査（配点10点）

##### ア 【提案見積価格】の算出

提案見積価格の算出は、技術提案の評価点確定後、技術提案額見積書【様式6-2~4】を開封して【技術提案額】を確認します。その後『【VE提案額】のうち、審査委員会による審査の結果、採用となったVE項目の金額』を【技術提案額】から差し引いて【提案見積価格】を事務局にて算出します。

##### イ 【提案見積価格】の評価【10点】

提案見積価格の評価は、「5. 評価基準 別表」の基準により事務局が定量評価を行い、その結果を委員会に報告します。

#### (5) 最優秀提案者及び次点提案者の選定

ア 参加者の順位は、実績審査、技術提案審査及び価格審査の評価点を加えた合計評価点を算出し、決定します。

イ 最終順位は、1位の参加者を最優秀提案者、2位の参加者を次点提案者とします。

ウ 合計評価点と同じ参加者が2人以上ある場合は、技術提案審査の評価点が高い者を上位とし、技術提案審査の評価点も同じ場合は、実績審査のうち、担当者の実績審査の評価点が高い者を上位とし、実績審査の担当者の実績評価点も同じ場合は、委員会の判断で決定します。

エ 提案者が1者であっても評価を行い、合計評価点が50点以上である場合は、最優秀提案者として決定します。

### 3. 評価項目、配点等

各審査の提案テーマや求める提案内容、および配点については、「5. 評価基準 別表」のとおりです。

なお、技術提案審査の評価点は、それぞれ各委員の評価点を分類ごとに平均して算出します。平均の算出にあたっては小数点第2位以下を切り捨てた点数とします。

また、技術提案審査において、各委員は提案された内容を踏まえた上で、評価項目ごとの配点に以下のウェイトを乗じた点数をもって評価を行います。

評価	評価のウェイト
A：非常に優秀	1.0
B：優秀	0.8
C：やや優秀	0.7
D：普通	0.5
E：やや劣っている	0.3
F：劣っている	0

#### 4. 技術提案書・VE提案書に記載された技術提案の取扱い

受注者は、本プロポーザルで提出された技術提案書・VE提案書のうち審査委員会が採用とした項目の内容については、本市の指示により実施する必要がない部分を除き、確実に履行するものとします。

なお、本業務の完了時に受注者側の責により技術提案書、及びVE提案書のうち審査委員会が採用とした項目の内容を履行できなかった場合、又は本業務の完了前にあっても履行できないと認められた場合、本市は受注者に対して実施要領「14. 提案内容不履行の場合の措置」に記載している違約金等を請求する、または契約解除等を行う場合があります。

5. 評価基準 別表

項目	領域	提案テーマ	求める提案内容 ※評価方法	配点		様式
				テーマ	項目	
実績審査	企業実績	企業（施工）の類似業務実績	15年以内の企業の類似実績（施工）；参加資格とは別に1件分を提案	2点	8点	様式6-5
		企業（設計）の類似業務実績	15年以内の企業の類似実績（設計）；参加資格とは別に1件分を提案	2点		
	配置予定技術者の実績	設計管理技術者または設計主任技術者（建築総合）の類似業務実績	15年以内に類似案件の設計業務に従事した実績（実績時の立場は問わない）；1件まで	2点		
		現場代理人または監理技術者の類似業務実績	15年以内に類似案件の施工業務に従事した実績（現場代理人・監理技術者・主任技術者での実績に限る）；1件まで	2点		
技術提案審査	A 業務全般	ア)業務実施方針と体制 本事業特性に応じた業務実施方針と設計・工事監理・施工・アフターフォローの総合体制	① 本事業への理解と、事業特性に相応しい業務実施方針の提案	12点	27点	様式6-7 A3 1枚
			② 本事業の品質を確保・向上させ、適切かつ確実な業務・工事の履行を図るための事業実施体制			
			③ 窓口の一本化や情報一元管理など、円滑な事業推進の体制			
			④ 事業進捗に合わせた会議体設定や、リアルタイムの情報共有の仕組みなど、発注者との合意形成に寄与する取組等の提案			
			⑤ 施工担当者の設計への参画など、施工技術が設計に反映できる体制			
			⑥ 工事監理者の第三者性が確保できる体制			
			⑦ 全社的なバックアップやアフターフォローに関する具体的な体制や手法			
			⑧ 本事業に対する担当技術者のコミュニケーション能力			
			⑨ 日向市内の事業所（設計・設備等）の活用など、設計段階から地元企業の協力を得られる体制づくり			
			イ)品質管理手法 本事業の目標品質を確実に達成するための段階ごとの品質管理手法			
ウ)コスト管理手法 本事業期間を通じて提案見積額を超過しないためのコスト管理手法	①契約価格の中で設計を進める有効な手法 ②激しい市況変動下での有効なコスト抑制手法	5点				
エ)工程管理手法 本事業の完成期日を確実に実現するための工程管理手法	①設計・申請～資材発注～各工事の関連とクリティカルパスを明記した全体工程 ②資材納期や労務不足による工程遅延を防止するための有効策	5点				
B 地域貢献	地域貢献 市内発注金額と地域経済や地域活性化に貢献する取組等	①元請負者から日向市内の企業等に直接発注する金額の最高提示金額に対する比率% ※評価点＝(1－(最高金額-貢献金額)/最高金額)×7点(出資比率含めず)	7点	10点	様式6-7 A3 1枚	
		②上記①には含まない地域経済や地域活性化に貢献する取組等の提案	3点			

項目	領域	提案テーマ	求める提案内容 ※評価方法	配点		様式
				テーマ	項目	
技術提案審査	C 設計業務	ア)設計コンセプト 本施設計画の背景や特徴に相応しい設計コンセプトの提案	本施設への理解と設計コンセプト・設計方針の提案	4点	35点	様式6-7 A3 1枚
		イ)外観計画 立地環境と周辺からの見え方を考慮した外観計画と外部仕上などの提案	①周辺環境と調和した景観を構成する外観と外部仕上の提案	3点		
			②夜間のライトアップやプロジェクションマッピングなどを考慮した外観の工夫等の提案			
		ウ)ユニバーサルデザイン 動線やサイン、更衣室やトイレ等への配慮など、高齢者やバラスポーツも含め全ての人が利用しやすいユニバーサルデザインの提案	①ユニバーサルデザインに配慮した外構のアプローチ動線計画	9点		
			②視覚障がい者、高齢者、外国人も含め、全ての人がわかりやすい動線誘導やサイン計画（受賞歴などの優れた取組実績の活用を含む。）			
			③バラスポーツでも利用しやすい、更衣室やトイレ、観覧席、出入口などの工夫			
		エ)内部空間計画 親しみやすく、機能的で、維持管理しやすい内観・内部仕上計画や平面・断面計画や設備計画等の提案	①宮崎県産木材等を活用した、親しみやすい内部仕上・内観計画	7点		
			②競技しやすさ、使いやすさ、安全性に配慮したアリーナ・武道場等の空間計画			
			③アリーナ・武道場等、大空間の維持管理に配慮した内部仕上計画や設備計画			
		オ)災害対策 平常時の利用と両立する避難所機能等、災害時対応設備等の提案	①避難所供用時にも有効に機能する平常時設備等の提案	6点		
②災害時の機能をより強化する設備設計等の提案						
③災害時の機能を考慮した駐車場等の外構計画						
カ)環境配慮 維持管理や将来更新が容易で、環境に優しくライフサイクルコストとCO2排出が低減できる技術提案	①維持管理や将来更新が容易な施設設計の提案	6点				
	②ライフサイクルコストとCO2排出が低減できる環境配慮などの提案					
D 施工業務	施工計画 陸上競技場や野球場等の既存施設利用者の安全や、周辺住環境への影響を考慮した工事施工計画	①陸上競技場や野球場などの公園利用者の安全性や利便性に配慮した施工計画	10点	10点	様式6-7 A3 1枚	
		②周辺住宅地への騒音・振動対策や、周辺自然環境に配慮した施工計画				
E 価格審査	E 提案見積	提案見積価格	【技術提案額】、【VE提案額】およびVE提案審査結果より事務局にて【提案見積価格】を算出 ※評価点＝（1－【提案見積価格】÷上限価格）×125 【上限価格の92%以下で満点】	10点	10点	様式6-2 ～6-4
V 審査提案	F VE提案	VB提案	「求める提案内容」とは関連しない、基本計画図の内容と同等以上の機能・性能を有しており、また実現可能であるVE提案を求める なお、【VE提案額】は共通費及び消費税を含んだ金額とすること（上限4件）	一点	一点	様式5-2 様式5-3
合計					100点	